

令和7年9月22日

令和7年度病害虫防除技術情報（第6号）

和歌山県農作物病害虫防除所

果樹カメムシ類の発生に注意してください

チャバネアオカメムシ(写真 1)の予察灯における誘殺数が急増しているため、必要に応じて防除を行いましょう。

1. 対象作物：カンキツ、カキ、ナシ、ブドウ、キウイフルーツ
2. 対象地域：県北部、県中部
3. 誘殺状況：
 - 1) 紀の川市粉河の予察灯における9月1～15日の誘殺数は4,269頭（平成899頭）であった（図1）。
 - 2) 有田川町奥の予察灯における9月1～15日の誘殺数は3,780頭（平成387頭）であった（図2）。
4. 防除上の注意事項：
 - 1) 果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きく、特に山林隣接ほ場では被害が出やすい傾向がある。
 - 2) 台風通過後や強風後には、一時的にほ場への飛来が多くなることもある。
 - 3) カキでは「富有」、カンキツでは収穫時期の早い極早生ウンシュウミカンで被害が大きい。
 - 4) 今後の発生動向については、農林水産部鳥獣害対策課のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/072000/d00216368/kajukame.html>)や各地域の振興局、JA等の情報を参考にする。
 - 5) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。特に収穫が近いほ場では、薬剤の収穫前日数に注意する。
 - 6) カンキツの防除においては、農林水産部鳥獣害対策課のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/072000/d00216368/kajukame.html>)内の、「カンキツにおけるチャバネアオカメムシに対する各種薬剤の防除効果」を参考にする。



写真1 チャバネアオカメムシ成虫

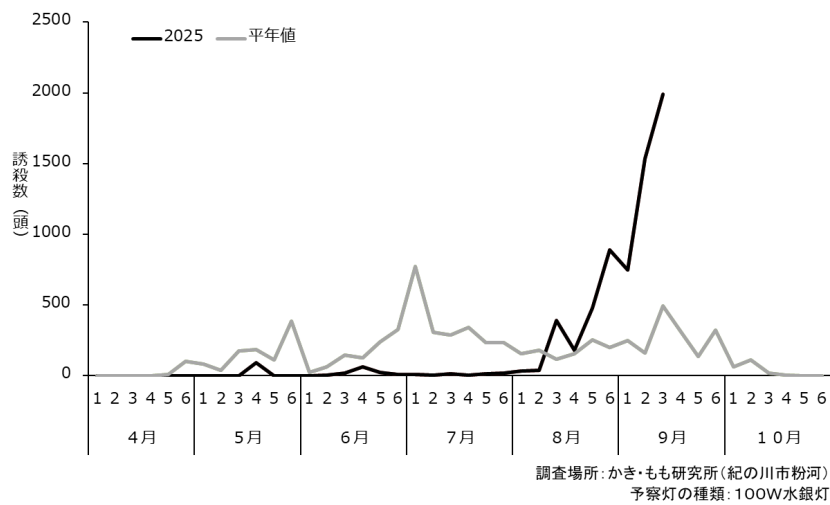


図1 紀の川市粉河の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長

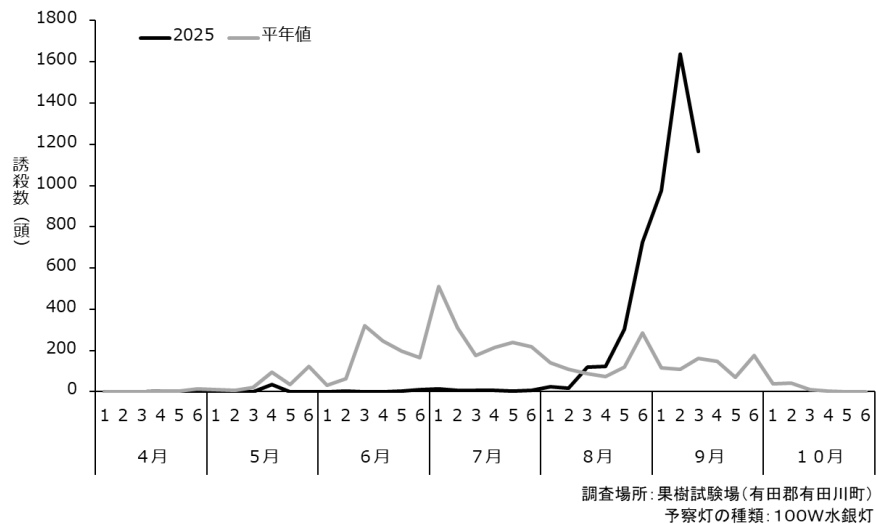


図2 有田川町奥の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長

※図の横軸の数字は、半旬（1：1～5日、2：6～10日、3：11～15日、4：16～20日、5：21～25日、6：26～30日または31日）を示す。

担当：農作物病害虫防除所	紀の川駐在	0736(73)2274
	有田川駐在	0737(52)4320